

越前町議会・令和6年6月定例会一般質問【中西 清議員】

(令和6年6月5日 午前11時28分 開始)

○6番(中西 清君) 議長の許しをいただいたので、通告書に基づいて一般質問を行います。

越前町の過疎化の現状と対策について。

2023年12月、人口戦略会議が分析し、発表した将来消滅予想744市町村の中に越前町の名が挙がっています。大変残念ですが、このことについて、町長の見解を伺います。

○議長(佐々木一郎君) 町長。

○町長(青柳良彦君) それでは、中西議員のご質問にお答えいたします。

令和6年4月24日に、民間の有識者でつくる人口戦略会議が令和6年地方自治体持続可能性分析レポートを発表いたしました。

その中で、若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体を消滅可能性自治体として挙げています。この公表に対して、全国町村会の吉田会長は、「人口減少に対応する自治体の努力や取組みに水を差すものだ。」とのコメントを發表されました。そして、「大きな要因は、東京圏への一極集中と少子化だ。自治体の努力だけで抜本的な改善を図れるものではなく、一部の地方の問題であるかのように矮小化されてはならない。」と指摘されています。

令和6年3月定例会の高田議員の一般質問でも答弁させていただきましたが、少子化対策も教育と同様、国家百年の体系として取り組まなければ解決できない深刻な問題と捉えており、根本的な人口減少対策は国の政策が重要であると考えています。

本町におきましても、人口減少対策につながる様々な施策を行っていますが、地方自治体にてできることは対症療法的な施策にならざるを得ません。今後はトライ・アンド・エラーにより、独自の知見を積み上げていくことが必要不可欠と考えております。以上です。

○議長(佐々木一郎君) 中西 清君。

○6番(中西 清君) 関連して、これまでの人口減少について次の点を確認します。

合併直前の4町村の人口と合併後現在の人口及びそれらの減少率について、お願いします。

○議長(佐々木一郎君) 総務理事。

○総務理事(菅原辰彦君) 総務理事、菅原です。

それでは、中西議員のご質問にお答えします。

合併直後の数字になりますが、平成17年4月1日現在の人口は朝日地区9,880人、宮崎地区4,078人、越前地区6,107人、織田地区5,317人で、令和6年5月1日現在の人口は朝日地区8,750人で11%の減、宮崎地区3,326人で18%の減、越前地区3,892人で36%の減、織田地区3,921人で26%の減で、全体では22%の減少率になります。

以上です。

○議長(佐々木一郎君) 中西 清君。

○6番(中西 清君) 同様に、旧越前町と現在の越前地区の人口減少についてお伺いします。

○議長(佐々木一郎君) 総務理事。

○総務理事（菅原辰彦君） 今ほど、申し上げたところですが、旧越前町、現在の越前地区の減少率を申し上げますと、令和6年5月1日現在の人口は越前地区で3,892人で36%の減となります。

以上でございます。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） 特に越前地区が群を抜いて減少率があります。それは何らかの原因があると思われかもしれませんが、そのことについて、何か考えがありますか。

○議長（佐々木一郎君） 中西議員、通告書に基づいて発言をしてください。

○6番（中西 清君） はい、関連してです。

では、次にいきます。

越前地区の現状について、様々な要因が考えられます。人口減少と過疎化について合併後、既に懸案事項となっていました。若い世代や転入者、高齢者のための町営住宅や住宅造成、若者たちの定住を促すための雇用の確保、漁業の振興、子育て世代が安心して子どもを産み育てる環境づくりなど、思うような効果が見られず、思い切った施策を取るべきだったと考えています。唯一、高校生の通学補助は子育て世代の大きな支援につながっていますが、これも削減されています。観光だけでなく、町民が安心して暮らせるまちづくりのための施策を今後早急に進めるべきではないかと考えますが、町長の所見を伺います。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） お答えいたします。

私が町長に就任してからは分野的に観光に特化することなく、また、地域においても偏ることなく、バランスの取れた予算配分を行っています。また、町民が安心して暮らせるための施策として様々な支援策も行っています。具体的には住まい支援として持ち家新築住宅建設費の助成や空き家情報バンク登録物件の購入や改修、賃借に対する費用の助成、定住支援として奨学金返還補助やU I ターン移住就職支援、子育て支援として高校3年生相当までの子ども医療費の無償化や学校給食費の無償化、高校生の通学定期購入費の助成については補助率の見直しを行いました。それでもなお県内でもトップクラスの手厚い支援です。いずれも人口減少対策につながる重要な施策であると考えております。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） ただいまの答弁いただきましたけれども、越前地区が合併してから35.数%という減り具合は他地区ともものすごく大きく減っています。それは今までの施策がうまくいっていなかったせいだと私は考えますが、今後、そのことについて何か考えはありますか。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） 今ほどの質問でございますが、議員のお考えの中には、3地区の対策が十分ではないというお考えが見え隠れしておりますが、合併以降、特に越前地区で行ってきた事業を申し上げますと、観光では道の駅越前の整備、水仙ランドレストランや越前がにミュージアムの整備を行いました。水産業では玉川漁港、米ノ浦漁港などの町管理漁港の改良、また、定置網、底引き網漁業への支援、漁場の環境保存のための海底耕うんは毎年実施しております。インフラ面では国道305号越前バイパスの開通、国道365号梅浦バイパスの全線開通、国道305号高佐白浜間の狭隘区間の改良とともに、国道305号道口梅浦間のバイパスの整備計画及び沿線の越波対策については早期実現を目指し、毎年重要要望事項として国や県に要望活動を行って

います。

今後も、各種支援策を含め、町民に必要な施策を偏ることなく、バランスよく行っていくことで、全ての世代が生きがいを感じられるような住みよい環境づくりを行い、持続可能なまちづくりに尽力してまいります。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） 現状を見ますと、朝日地区の人口や施設が集中し、3地区への展望、広報が十分でないと考えられますが、財政効果のため、地域の施設や休館、閉鎖、道路や交通網等に対し、社会状況の流れという口実で済まされると思われています。もっとも各地区の現状を踏まえて、きめ細かな施策、振興策が必要だと考えます。

町長の建設的な見解を求めます。

○議長（佐々木一郎君） 中西議員、先ほども言ったんですけれども、通告書に基づいて、順序よく質問をしてください。

副町長。

○副町長（出口俊一君） それでは、中西議員のご質問でございますけれども、人口の減少は越前町のみの事象ではないと、全国的な傾向と捉えております。国における緊急の政策が必要であると考えております。

また、越前地区の人口の減少率が非常に高いというご質問でございますけれども、これも先ほどの町長の答弁のとおり、様々な施策を越前地区においても展開しておりますので、今後、人口の減少を少しでも先延ばしするような施策を今後も展開していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） ただいまの答弁やけれども、実際にももちろん町が頑張って施策をしていただいておりますけれども、地区民の少なくなっているという現象は止まっていない。またこれから私が見渡す限り今のままでは減る一方だと思えます。その辺のところの対策が示してほしいと私は思います。

○議長（佐々木一郎君） 副町長。

○副町長（出口俊一君） 先ほどから申し上げておりますけれども、人口減少につきましては本町としましても大変重要な課題と捉えております。ただ、越前地区のみの現象ではございません。越前地区の方が織田・朝日地区へ出てこられる方もいらっしゃいます。それを少しでも鯖江市、福井市のほうへ転出しないように、今、朝日地区でも、そういった住宅造成とかそういったことで人口減少を止めるように努力しているところでございます。

また、越前地区におきまして、そういう人口減少を少しでも止めるような政策等ございましたら、また議員のほうからもお示しいただいて、一緒に対応してまいりたいと考えておりますので、よろしくご協力いただきますように、お願ひ申し上げます。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） すみません。

質問の順番飛ばして、すみませんでした。

越前地区は、今、質問したとおり、過疎化がひどく、それとさっき高田議員もおっしゃっていましたが、家、空き家がものすごく空いています。それらの対策も含めてしてほしいなという思いもありますし、今現状では増える要素がない。それと高齢化率も越前地区は高いはずで、特に高いはずだと思います。ということは生まれる者よりも生まれる人よりも死ぬ人が多いということです。転入、転出なくしても

減っていくことは間違いないんです。それらの率を減らすということは、減少率を減らすということは、やはり今越前地区で住める人をつくっていくという考えでなければならぬと思います。

それで、今まで質問の中で話しましたけれども、ちょっと飛ばしてもうたからですが、そういうことで越前地区に、合併してから新しい施設など、厨で漁業者向けの施設ができましたけれども、あとは何もありませんし、住宅を確かに越前地区から他町村へ出るには遠いということもあり、地元では残らず、転出していくということもありますけれども、地元で我々生まれ育った者に対しては懐かしいというか、ものすごい愛着がありますし、それを愛着をうまく利用して、住み続けられるような施策をしてほしいと思いますので、ということで質問を終わります。

ありがとうございました。

(午前11時45分終了)